

大分県高等学校体育連盟の概要

【大分県高等学校体育連盟とは】

大分県高等学校体育連盟（以下県高体連という。）は、昭和23年に創設され、本県の高校生の健全育成や学校における体育・スポーツ活動の充実・発展、競技レベルの向上等をめざして各種事業を実施しています。

中でも、大分県高等学校総合体育大会は、5月下旬から6月上旬を主日程に開催する大分県の高校スポーツの最大の祭典です。大会には、35競技に約6,000名の選手が参加し、生徒や保護者の大声援の中、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）等の出場権獲得をめざし、熱戦が展開されます。スポーツをする人、見る人、支える人、それぞれの立場で感動を分かち合うことのできる大会です。

また、総合開会式は大分県高等学校文化連盟加盟校の協力を得て、多くの来賓の御臨席のもと、県高体連加盟校から約2,000名の役員・選手団が参加する一大イベントです。

1 運営方針

- (1) 県教育委員会・公益財団法人大分県スポーツ協会と緊密な連携を図り、学校体育・スポーツの充実・発展に努める。
- (2) 競技会の充実に努める。
- (3) 競技レベルの向上に努める。
- (4) 県高体連組織及び運営の在り方について工夫・改善を図る。
- (5) 研修事業及び調査研究活動の充実を図るとともに、指導者の資質向上に努める。

2 活動目的

- (1) 青少年の健全育成
- (2) 豊かな心や健やかな体の育成
- (3) 望ましい人間関係の育成
- (4) 主体的な態度の育成

3 事業概要

- (1) 大分県高等学校総合体育大会の開催
- (2) 大分県高等学校新人大会の開催
- (3) 大分県高等学校定時制通信制体育大会の開催
- (4) 全九州高等学校体育大会の開催
- (5) 研修事業の実施
- (6) 表彰事業の実施
- (7) 報告書等の発行
- (8) 諸会議の開催

＜高体連マークの由来＞



KRAFT 力  
KUNST 技  
KLARHEIT 明朗な精神

これは「若い力と技と明朗な精神」を象徴し、真紅の色彩は「高い理想」と「希望に燃える若者の情熱」を象徴するもので、3つの「K」のマークは高体連旗となって、全国大会はもちろんのこと、高体連の主催による大会には必ず会場に掲げられます。

4 収支報告

＜令和6年度＞

【 収入 】

項 目	金 額	備 考
会費※1	28,130,500円	加盟校から生徒数に応じて納入
参加負担金等	12,234,181円	県内大会、九州大会、前年度繰越
県費補助	8,153,072円	大分県からの補助金
繰越金	13,014,912円	前年度からの繰越金
合 計	61,532,665円	

【 支出 】

項 目	金 額	備 考
本部費	7,601,962円	事務費、雇用手当、印刷費、納金等
事業費	24,360,056円	派遣費（県大会・全国大会）、研修事業等
部費	17,348,661円	35競技専門部の大会運営
旅費	3,417,874円	本部旅費、専門部旅費
積立金	1,000,000円	全国高校総体積立金等
支部費	1,555,340円	4支部、定通部補助
予備費	332,212円	
合 計	55,616,105円	

※収入合計－支出合計＝5,916,560円（令和7年度への繰越額）

※1 令和7年度より会費を学校加盟金へ名称変更